

安心して暮らせるまちづくりのために



【天子田学区】

■世帯数：2,662 世帯

■人 口：6,483 人

■面 積：0.924 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 安心して暮らせるまちづくりをめざして、防犯パトロールを行っている。
- ・ パトロールの際の啓発・呼びかけ内容を、徒歩の部と広報車両の部用に作成するとともに、パトロールを行う上での着眼点をまとめて効果的なパトロールに努めている。
- ・ 月3回実施。3班構成で「防犯パトロール隊」を組織し、持ち回りで学区内全域を約 1 時間かけてパトロールしている。

【住民への PR 方法】

連絡協議会各種団体に協力を依頼

【アピールポイント】

年間を通し、毎月3回実施、平均 20 人が参加している。消防団車両によるパトロール、広報活動を行っている。

2 きっかけ、背景

「犯罪のない、火災のない、交通事故のない」「安心して暮らせるまちづくり」を目的に、学区連絡協議会役員の提案で、平成 17 年 4 月の総会において決議。同年 5 月に防犯パトロール隊を編成し、活動を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計約 46 人

(2) 他団体との協力

消防団、小学校 P T A など

(3) 運営協力

年間を通じて、各種団体が輪番制で協力している。

4 実施のスケジュール

H17 年 4 月 防犯パトロール隊の編成
パトロール広報文の作成

5 月 防犯パトロール開始、現在に至る



5 成果と課題

成果・効果

- ・ 各種団体が結束し、積極的に参加している。
- ・ 住民意識が高まり、住民間の交流が深まった。
- ・ 違法駐車等が減少した。

防犯パトロールの着眼点!!

- 防犯灯の設置が必要な暗い場所はないか
暗い道路や公園では、ひったくりやサカシヤ等の犯罪が心配です。防犯灯を必要とする場所はないか点検しましょう。
各家庭の門灯を一晩中点灯させておくも効果的です。
- 不良少年のたまり場はないか
駅周辺、公園、コンビニの店先等、不良少年のたまり場となっている場所を巡回ルートに加えましょう。
防犯パトロールをしている姿を見せるだけでも抑止効果があります。
- 通学路に異常はないか、子どもに声をかけている不審者はいないか
未知数では子どもを傷つけた声かけ・つきまとい事案の7割以上が、午後2時から午後8時までの間に発生しています。子どもの安全のために通学路に重点を置いた防犯パトロールを行い、防犯パトロールを通じて不審者の発見に努めましょう。児童の帰宅に付き添ったり、交差点で立ち寄りをして安全を確保する活動等も行われています。(見守り活動)
- 水難事故が発生するおそれはないか
河川、用水、ため池等、水難事故の発生が心配される場所を見つけたら、改善を働きかけましょう。そのような場所で遊んでいる子どもには、やめるよう呼びかけましょう。
- 公園等の遊び場に異常はないか
子どもたちが安心して遊べるように公園や広場の監視が必要です。夕暮れ時になったら、早めに帰宅を促しましょう。
- 廃屋、空き家等に異常はないか
廃屋、空き家等は犯罪の産床とならないようにするため、管理団体へ改善の働きかけをしましょう。
- 落書きや不法投棄はないか
落書きや投棄されたゴミ等をそのままにしておくと、地域の環境が悪化し、治安にも悪影響を及ぼすおそれがあります。